

平成26年度静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）の実施状況については、静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項により報告いたします。

1 経緯

基本計画については、平成23年3月、本市のものづくり産業の振興に向けた議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、同条第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会（以下「審議会」という。）及び関係機関との連携を図りながら、基本計画の策定に向けて取り組んできました。具体的には、平成23年9月に審議会へ基本計画策定案の検討を諮問し、その後、パブリックコメントなどを経て、平成24年7月に「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を計画目標とする基本計画を市長の定例記者会見において、公表・施行し、計画目標の達成に向けて取り組んでいるところであります。

2 基本計画の概要

基本計画については、条例に掲げる趣旨の具現化に向けたプロセスであることから、計画目標を支える5つの方針と11の施策に基づいて、全49事業を振り分けるとともに、計画期間における成果目標の設定を含めて体系化を図ったものであります。これは、製造業を中心とする本市ものづくり産業の振興を図るための基盤となるものであります。

根拠法令	静岡市ものづくり産業振興条例第8条第1項（基本計画の策定等）
計画期間	平成24～26年度（3か年度）
策定目的	本市ものづくり産業の総合的かつ計画的な振興を図るため
計画構成等	①計画目標 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡 ②方針 方針1 … 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 方針2 … 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 方針3 … 連携を活かした新たな取組みの推進 方針4 … ものづくり産業を育てる環境整備 方針5 … ものづくり産業への理解促進と情報発信 ③施策事業等 各事業の成果目標及び事業実績一覧表のとおり

基本計画の実施主体については、計画目標の達成に向けた事業を実施する担当課として、経済局商工部4課及び教育委員会事務局教育部1課の計5課が基本計画の推進に取り組んでいます。

事業担当課では、事業が振り分けられた方針や施策を踏まえるとともに、計画目標を達成するための成果目標のもとで、効率的かつ効果的な事業運営に努め、同時に進捗管理を図りながら事業を推進してきたところであります。

経済局商工部（4課）	産業振興課、産業政策課、商業労政課、観光・シティプロモーション課
教育委員会事務局教育部（1課）	学校教育課

3 実施状況等

基本計画については、前項のとおり、計画目標の達成に向けて、体系的が図られたものであるため、その実施状況にあたっては、一事業の進捗状況を注視するだけでなく、計画目標を実現させるために掲げた方針の進捗状況を主体的に捉えることで、計画全般を総合的に把握する必要があります。そのため、今回の報告では、図1のとおり、計画目標の大項目である5つの方針を基本的な枠組みと捉えるとともに、その中に位置付けられた施策毎の事業に関する進捗状況をもとに、方針毎の実施状況を把握しています。その後、それぞれの方針に関する進捗状況を総合的に判断した結果をもとに、基本計画の実施状況を包括的に評価しています。

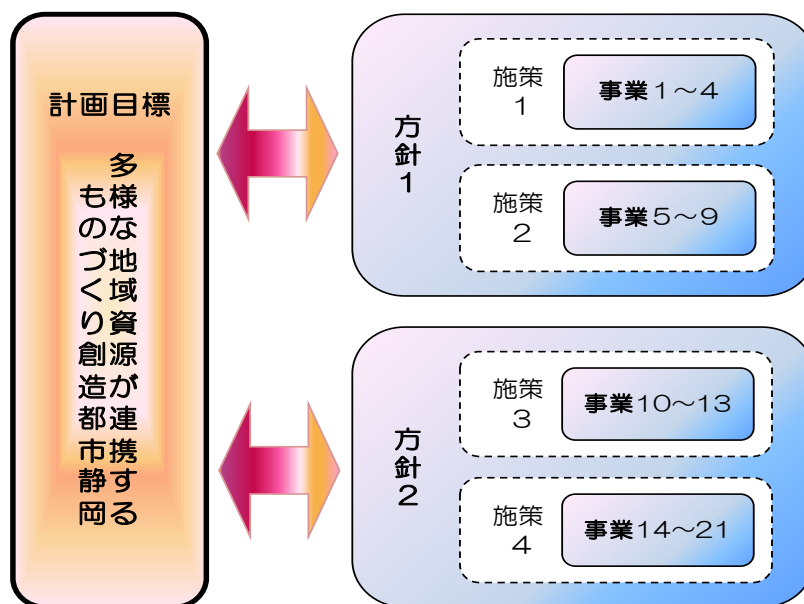


図1 基本計画の体系（方針1及び方針2の抜粋）

このようなことから、次項以下では、各方針の進捗状況を把握するために、表1のとおり、各種事業の実施結果について、AからCまでの3段階による区分に加え、数値目標を設けていない事業の4つに振り分けています。

なお、事業の成果目標に関しては、単年度毎のものと計画期間の3年をベースとするものとの2つに大別しています。そのため、3年間をベースに目標を設定した事業につきましては、3年間の実績を基に事業評価をしています。

事業区分等	成果目標に対する事業の進捗状況等
A	成果目標を上回った事業
B	成果目標をほぼ達成した事業
C	成果目標を下回った事業
※	数値目標を設けていない事業
(留意事項)	1) 成果目標の捉え方 3年の計画期間をベースに目標設定した事業については、3年間の実績を基に進捗状況について評価を実施。 2) 施策の付記 参考まで当該方針を構成する施策を同表の冒頭に記載。

表1 成果目標に対する各種事業の進捗状況等

(1) 方針毎の実施状況

①方針1 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上

方針1では、表2のとおり、成果目標を下回ったものが1事業あるものの、他の5事業においては成果目標以上または概ね成果目標達成の進捗状況にあることから、方針の進捗状況に関しては、比較的順調な事業展開のもとで推移していたと捉えております。

その他、成果目標を定めていない事業4の理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討事業については、地元の産業界を代表する静岡商工会議所から、理工系大学の誘致等が要望として市に示されたことにより、事務レベルにおいて、誘致等に向けた基本的考え方の相互確認や、中長期にわたる具体的な取り組みについて協議を行いました。

本市のものづくり人材の育成及び供給に加え、製造業者の抱える課題等の解決などを念頭に置き、来年度以降も継続課題として取り扱ってまいります。

また、事業9の技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討事業では、前年度に実施した静岡県職業能力開発協会・静岡商工会議所へのヒアリング結果について検討を重ねた結果、中小製造事業者は当支援事業を必要としていないとの結論に至りました。このことから、平成27年度施行の第2次静岡市ものづくり基本計画策定に向け、中小企業の技術向上や、人材育成に向けた新たな支援策の検討を行いました。

目標を達成した事業では、事業2の(仮)経営者と大学生との縁結び事業において、3年間の参加者数を360人と見込む中、計画期間内で504人の参加者を数え、目標を大きく上回りました。特に平成26年度は、市内開催だけでなく、県西部及び首都圏に開催を広げたことで、参加人数の増加に繋がったと考えられます。

さらに事業5の人材育成に係る各種講座・セミナー等の開催事業においては、平成26年度に例年を上回る41回のセミナーを開催したこともあり、3年間の受講者数について目標を上回ることができました。

また、事業8のクラフトマンサポート事業の拡充について、独立支援補助事業については目標に届きませんでした。短期・長期支援については目標を大きく上回る成果を達成しました。この事業に対する認知度は年々高まっており、短期・長期支援をより多くの独立支援に繋ぐことができるよう対策を検討していきたいと考えております。

構成施策	施策1 地域における人材確保への支援 施策2 技術者、経営者等の能力向上への支援
A	事業2 (仮)経営者と大学生の縁結び事業 事業5 人材育成に係る各種講座・セミナー等の開催 事業6 若手後継者の技術習得支援(伝統工芸技術保存講習会) 事業7 伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進及びPR活動の促進
B	事業1 企業と大学等との就職に関する情報交換の促進 事業8 クラフトマンサポート事業の拡充
C	事業3 定年延長を見越した中高年技術研修の検討 (未達成理由) 市内において中高年が活動をしている団体の調査や、関連団体へのヒアリングを行い、支援実施に向けた検討に終始することとなり、研修会の開催に向けた準備が整わなかったため。 (改善方法) 関係団体との連携強化に向けた情報共有、協議を進め、事業の方向性を検討していく。
※	事業4 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討 事業9 技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討

表2 事業実績に基づく方針1の進捗状況区分

②方針2 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援

方針2については、表3のとおり、成果目標を下回ったものが2事業ある一方で、それ以外の事業においては成果目標以上または概ね成果目標達成の進捗状況にあることから、方針の進捗状況に関して、比較的順調な事業展開のもとで推移していたと捉えております。

その中でも、事業10の若手グループの商品開発支援事業において、技術講習会の開催は年1回の予定となっておりましたが、平成26年度については3回の開催となったほか、他の講習会等についても、計33回の開催となり、当事業について目標を大幅に上回ることができました。

また、事業11の全国規模等の見本市への出展助成強化事業では、3年間の助成件数について目標の140件を大きく上回る154件の助成を実施することができました。計画期間の3年間において、金融機関を中心に助成制度の周知活動を積極的に実施した結果、目標を上回る結果につながったと考えられます。平成27年度からは予算を増額するほか、利用方法を工

夫し、より多くの事業者が制度を利用できるよう検討を進めてまいります。

また、その他の中小企業の新規販路開拓やニーズに基づいた支援や相談事等については、3年間の目標を上回る事業も多く、順調に実施することができたと捉えております。今後も引き続き、企業ニーズの把握に努め、専門家や関連団体等との連携を強化し、より効果的な支援を検討し、実施してまいります。

一方、成果目標を下回った事業16のコンサルティングの実施事業になりますが、平成26年度は専門家派遣事業のPRをイベント等で積極的に実施したものの、事業内容が事業者に十分に行き届いておらず、成果目標には届きませんでした。次年度以降の事業展開にあたっては、支援機関との連携強化等、利用事業者を増加させていく具体的な手立てを引き続き検討していく必要があると考えております。

また事業21では、中小企業のニーズ把握が的確に図られていないこともあり、計画期間の成果目標には届きませんでした。次年度以降は、産学連携コーディネーターによる企業訪問や相談を強化し、中小企業のニーズ掘り起こしにより力を入れて事業に取り組んでまいります。

このような進捗状況にある方針2については、一部に改善を要する事業が見られるものの、多くの事業において、目標以上の順調な進捗が確認されることから、事業者のニーズへの支援に関する方針に沿って、事業展開できたと考えております。

構成施策	施策3 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援 施策4 経営資源確保のための環境整備
A	事業10 若手グループの商品開発支援 事業11 地場産品及び伝統工芸品等の販路開拓推進 事業12 全国規模等の見本市への出展助成強化 事業13 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援 事業14 マーケティング支援講座の実施 事業15 専門家による窓口相談 事業17 専門家の指導による商品企画・開発支援 事業19 創業者等の営業機会拡大等のための各種事業の実施
B	事業18 起業に向けたビジネスプランの策定等の支援 事業20 専門家の指導等による商品企画・開発等支援の拡充（新商品・特許）
C	事業16 コンサルティングの実施 （未達成理由）効果的なPRの実施ができなかった。 （改善方法）市から相談者へ積極的に活用を促す。PR強化に取り組む。 事業21 大学等研究機関への相談機会の拡充 （未達成理由）中小企業のニーズ把握が的確に図られていなかった。 （改善方法）支援機関との連携強化、中小企業のニーズの掘り起こしを実施。

表3 事業実績に基づく方針2の進捗状況区分

③方針3 連携を活かした新たな取組みの推進

方針3については、表4のとおり、他の方針と比較して、数値目標が設けられていない事業が多く掲載されております。成果目標を設けた事業においては、目標以上の実績を有する事業が多くある一方で、成果目標を下回った事業が確認されない状況にあります。

まず、成果目標以上の実績を達成したもののうち、特に顕著な進捗が見られる事業としては、事業24と事業29が挙げられます。事業24のメーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援事業については、3年間で3件の新商品開発数とする目標に対して、平成26年度2件の実績を加えた結果、3年の計画期間で13件を数えることとなり、進捗率は433.3%に達しました。今後も引き続き企業の掘り起こしを進めてまいります。

また、事業29のアーティストとのコラボレーション支援推進事業について、平成26年は、これまでの2か年事業から単年度事業に方針を変更し、単年度で30点の新商品開発に取り組みました。さらに、首都圏における見本市や、地元百貨店に出展するなど、販路開拓を継続的に実施しました。今後も商品の流通化を図るため、販路開拓効果の高い首都圏の見本市出展を継続的に実施したいと考えております。

成果目標を達成したそのほかの事業についても、関連団体との連携を活かした新たな取組に向け順調に支援等を実施できたと捉えておりますが、次年度以降はより具体的な成果が表れるよう、事業内容の改善を図ってまいります。

構成施策	施策5 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援 施策6 研究開発や事業化等に関する支援
A	事業22 産学官交流事業の推進 事業24 メーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援 事業28 駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進 事業29 アーティストとのコラボレーション支援推進 事業31 地域課題に係る産学共同研究への支援 事業35 ものづくり先進都市等に関する調査研究
B	—
C	—
※	事業23 異業種交流事業の推進 事業25 農商工連携の推進 事業26 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進 事業27 地域結集型研究開発プロジェクトの推進 事業30 新産業開発振興機構の活用に関する検討 事業32 大学等研究成果の技術移転の推進 事業33 産業構造の将来予測等に関する調査研究の検討 事業34 地域間競争に臨む戦略的方策等の検討

表4 事業実績に基づく方針3の進捗状況区分

一方、数値目標が設けられていない事業に関しては、事業の成果創出に向けて、異業種企業交流会や技術相談会のほか、セミナー等を開催するなど、関係機関等との調整を図りながら進捗が図られました。こちらについても、次年度以降は、実施された事業の成果が具体的に表れるよう、事業内容の検討・改善が必要と考えております。

これらの進捗状況を受けた方針3の進捗状況については、今後、更なる進展が望まれる事業が多く見受けられますが、多くの事業において、成果目標以上の進捗が確認されることから、連携を活かした新たな取組みを推進させる方針のもとで、事業の進捗が図られました。

④方針4 ものづくり産業を育てる環境整備

方針4に掲げる事業については、表5のとおり、事業数そのものが少ない中、数値目標が設けられているものが1事業、その他2事業に数値目標が設定されていない状況にあります。

成果目標掲げる事業36の企業立地の推進に関しては、積極的な企業訪問に取り組むとともに、各種情報や助成制度の情報提供を実施したことから、新規企業立地の年間目標件数14件に対して、17件の立地に成功し、進捗率121.4%を達成しています。また、今後は本市の特性及び企業ニーズに対応した補助拡充の検討を進めてまいります。

その他2事業の内、事業37の国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援事業については、前年度に引き続き市産学交流センター及び清水産業・情報プラザのホームページ等を活用しての情報提供や、月2回のメルマガ配信やFacebook ページ等による情報発信を行いました。

また、事業38の中小企業の事業継続計画策定に関する支援事業については、BCPに関する専門家の派遣を2件実施しました。その内、清水産業・情報プラザの製造現場改善支援事業において、BCP策定の支援コースの利用がなかったため、今後は、前年度同様に、事業メニューの周知に努めてまいります。

このようなことから、方針4の進捗状況については、成果目標以上の事業が確認されたことに加え、情報提供や普及啓発にも取り組むことができ、ものづくり産業の環境整備に関する方針のもとで、事業の進捗が図られていたと捉えております。

構成施策	施策7 企業の誘致及び市内留置の促進 施策8 情報の窓口の一元化に向けた事業者支援体制の整備 施策9 災害発生後における事業の継続等に向けた支援
A	事業36 企業立地の推進
B	—
C	—
※	事業37 国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援 事業38 中小企業の事業継続計画策定に関する支援

表5 事業実績に基づく方針4の進捗状況区分

⑤方針5 ものづくり産業への理解促進と情報発信

方針5では、表6のとおり、成果目標を下回ったものが2事業ある一方で、それ以外の事業では、順調に事業展開が図られ、成果目標を達成した状況にあります。

事業39におけるスペシャリスト派遣事業については、平成24年度をもって事業を終了となりましたが、①民間講師の活用、②職場体験学習の全校実施、③職場体験学習受入事業所掲載事業数に関する事業については、成果目標を達成しております。

また、事業41 高校生のインターンシップ事業については、前年度同様、インターンシップの学生と受け入れ企業の双方に対するアンケートを実施し、自己評価と他者評価を比較する方法を取り入れ、それらをインターンシップ生にフィードバックすることで就業意識向上に繋げました。成果目標については、3年で90人参加の成果目標に対して、3年間で283人の参加と、目標を大きく上回る実績をあげることができました。

さらに、事業46の首都圏におけるプロモーションの強化(ホビーのまち)事業については、平成26年度から新たに、東京丸の内K I T T E地下1階において5月と11月に、ホビーのまち静岡のPR活動や、5月開催の静岡ホビーショー・12月開催のクリスマスフェスタ静岡等イベント周知のPR活動を試験的に実施しました。期間中は多数の来場者にホビーのまち静岡の周知ができたことから、次年度以降も首都圏でのPR活動強化を図ってまいります。

構成施策	施策10 ものづくり産業と教育機関の連携強化 施策11 ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進
A	事業39 次世代育成プロジェクト事業 事業41 高校生のインターンシップ事業 事業44 経済セミナー等の開催 事業46 首都圏におけるプロモーションの強化(ホビーのまち) 事業47 静岡市ブランド認証制度の拡充 事業48 市民向けものづくり体験・学習イベントの開催
B	—
C	事業45 首都圏におけるプロモーションの強化(特産品東京展示会) (未達成理由) 例年開催の展示会以外に、首都圏PRの機会を設けることができなかったため。 (改善方法等) 来年度以降も新宿駅西口広場での展示会を続けていくとともに、市内地場製品のPRに適した場所を調査・検討する。 事業49 ものづくり現場企業見学会の開催 (未達成理由) 見学を希望する企業との協議の中で、見学者の受け入れ人数や時間等の調整が難しく、見学会の開催が1件に止まってしまった (改善方法等) 静岡商工会議所製造業部会と連携を図り、受入企業の選定について協議を重ねていく
※	事業40 こどもクリエイティブタウンの整備(平成25年1月開館) 事業42 体験型観光プログラムの開発と誘客の推進 事業43 産業観光等のニューツーリズムの推進

表6 事業実績に基づく方針5の進捗状況区分

さらに、数値目標を設けていない事業の内、事業 42 の体験型観光プログラムの開発と誘客の推進事業では、市とずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会の共同で、国内外へ教育旅行の誘致活動を実施しました。今後は、中京圏に対し誘致活動を実施するほか、引き続き首都圏等の学校に対して誘致活動を実施してまいります。

一方、事業 45 首都圏におけるプロモーションの強化事業では、本市特産品のPR活動の機会が、例年開催している「静岡市の特産品 東京展示会」の1回に終わり、成果目標を下回ったため、今後は市内特産品のPRに適した会場の調査・検討を実施し、効果的なPR活動に努めてまいります。

また、成果目標を下回った事業 49 ものづくり現場企業見学会の開催について、期間内の目標数には達しなかったものの、前年を上回る参加者があり、市民の関心は若干であるものの高まりを見せていると考えられます。今後は、事業として取り組むのではなく、問い合わせへの対応の充実を図り、市民の興味を企業見学に繋げられるよう取り組んでまいります。

これらのことに基づく方針5の進捗状況については、成果目標を下回った事業が見られるものの、成果目標以上の実績を有する事業が多く確認されるため、ものづくり産業への理解促進などの方針のもとで、事業の進捗が図られたと捉えております。

(2) 3年間（平成 24～26 年度）の基本計画実施状況の総括

基本計画の実施状況に関して、計画目標を支える重要な方針レベルにおいては、表7の状況から、3年間の計画期間において、5つの方針で概ね進捗が図られたと考えられます。

続いて事業レベルの進捗状況からは、目標の達成基準となるA（25 事業）及びB（4 事業）に該当するものが、全 49 事業の 59.2%を占める結果となっております。その中でも、成果目標を設けた事業だけを見た場合は 85.3%を占め、基本計画策定時に定めた3年間の成果目標を概ね達成できたと捉えることができます。

また、成果目標を設けていない事業については、各種セミナーの開催などを通じて、中小事業者等に対する情報提供などの支援展開が進められており、それぞれの方針に沿って進捗が図られました。

前年度比較ですが、A評価の事業が、前年の 21 事業から 4 事業増加しているとともに、未達成であるC評価の事業についても 1 事業増加となっております。これは、平成 26 年度について事業を順調に実施することができていた一方で、基本計画を3年間実施していく中で新たな課題が発見されたと捉えることができます。これらの課題については、次年度以降、事業の見直しも含め、対応を図ってまいります。

今後は、3年間のものづくり基本計画の実施により表れた成果・課題について分析・検討を行い、その結果を、平成 27 年度施行の第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画に活かし、個々の事業が静岡市のものづくり産業振興のため、より効果的な事業となるよう検討を進めてまいります。

該当事業数 0 内は平成25年度

方針区分	事業区分等	該当事業数	方針別 (%)	4区分 (注1)	方針別進捗評価	事業区分別	該当事業数	事業別 (%)	3区分 (注2)
方針1	A	4 (4)	44.4	66.6	○	A	25	51.0	59.2
	B	2 (1)	22.2						
	C	1 (2)	11.1						
	※	2 (2)	22.2						
	小計	(9)							
方針2	A	8 (7)	66.7	83.4	○	B	4	8.2	
	B	2 (4)	16.7						
	C	2 (1)	16.7						
	小計	(12)							
方針3	A	6 (4)	42.9	42.9	○	C	5	10.2	10.2
	B	0 (2)	0						
	C	0 (0)	0						
	※	8 (8)	57.1						
	小計	(14)							
方針4	A	1 (1)	33.3	33.3	○	C	5	10.2	10.2
	B	0 (0)	0						
	C	0 (0)	0						
	※	2 (2)	66.7						
	小計	(3)							
方針5	A	6 (5)	54.5	54.5	○	※	15	30.6	30.6
	B	0 (2)	0						
	C	2 (1)	18.2						
	※	3 (3)	27.3						
	小計	(11)							
事業数計		49	—		—	—	49	—	—
各方針の進捗状況に対する総合的な評価		◎ : 十分に進捗が図られている ○ : 概ね進捗が図られている △ : 進捗が図られていない × : 全く進捗が図られていない							

注1) 各方針の事業に関して、成果目標以上とその他により事業を区分しています。
 注2) 3区分による表記は、全49事業を成果目標以上とその他によりを区分しています。
 注3) 方針別の割合について、必ずしも100%にならない項目もあります。

表7 方針別の進捗評価及び事業区分別の進捗状況

これらのことから、基本計画全般にあつては、図2のとおり、計画目標の「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」に向けて、各種の事業成果を創出しながら、順調かつ着実に実施されてきました。

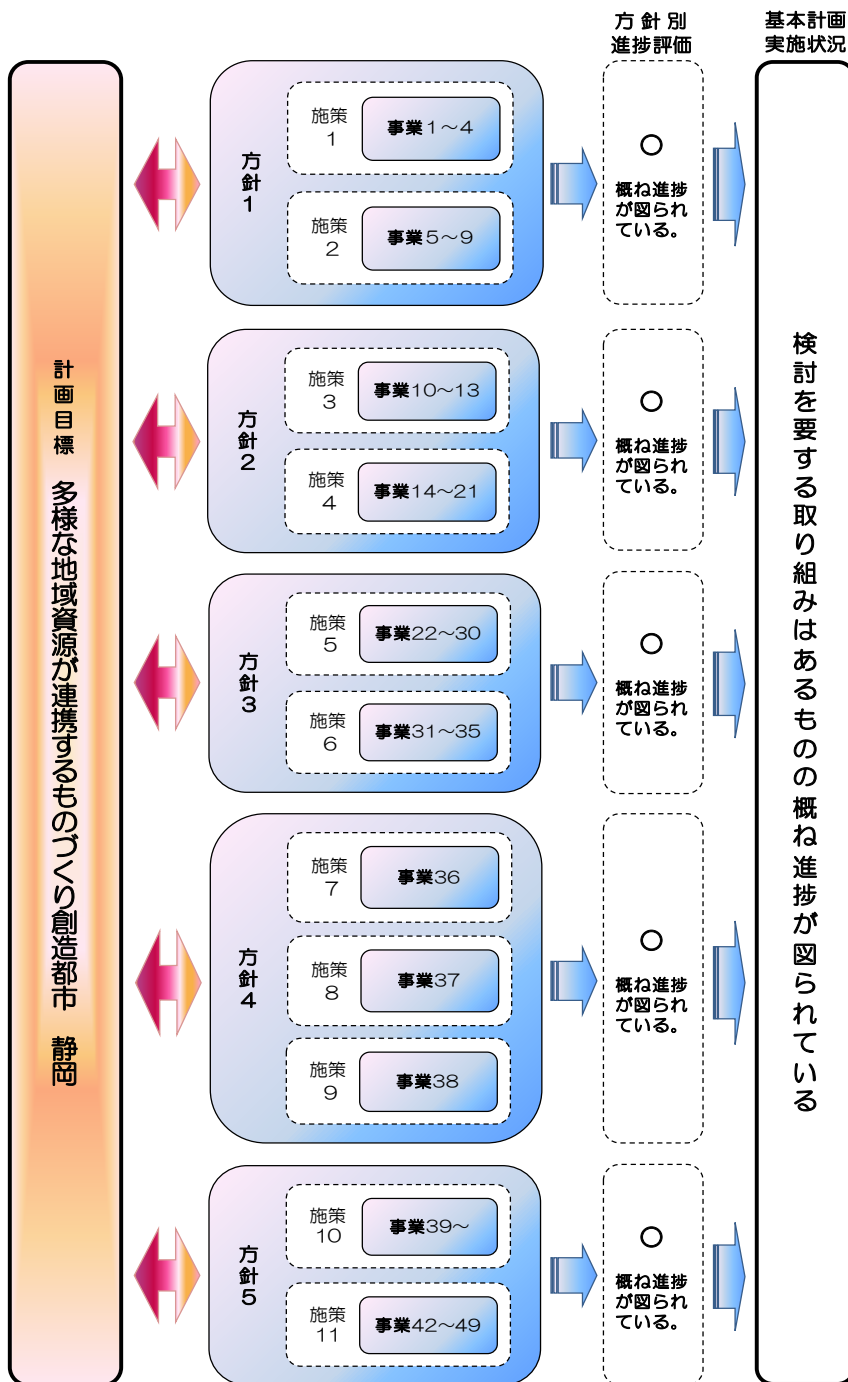


図2 基本計画の方針別進捗評価に基づく実施状況

